

自主研修

自立活動〔座位保持椅子の使用・摂食指導 4/19〕から

実際に座位保持椅子を動かしながら、扱い方や注意点など学習しました。車椅子と座位保持椅子の働きを併せ持った新しい形の椅子も紹介してもらいました。初めから椅子を倒しておくことで、椅子に座らせるとき、抱えるものが無理なくできる方法や、しっかり腰を引く方法など明日から役立つものでした。

摂食指導では摂食方法について学習した後、ペアをつくりお互いに食べさせ合いました。

口の中に入ったまま嚥下しにくいときつい顎を上げてしまいそうですが、「こんにちは」と言うように顎を下げたり、のどから舌根を押さえ舌をあげたりするとよいと教えてもらいました。そして、実際に体験できよく分かったと言う声がありました。

栄養職員の木村先生が参加されていて、とろみアップを使っていたのですが、これよりとろみクリアーのほうがおいしいとの意見あり、次期購入からとろみクリアーにされるそうです。



次回自主研修は4月26日〔月〕3時から教室を回り 自閉症講座（構造化）の予定です。

多数ご参加ください。

サポートブックを作ろう

平成15年4月から始まった支援費制度にともない、子どもたちが自ら選択して、色々なサービスを利用するようになりました。

その利用に当たり、子どもたちがより落ち着いてサービスが受けられるように、個々の子どもに応じたサポートブック作りが行われています。

サポートブックの枠があると書きやすいので、各学部のパソコンのドライブDに一太郎文書で枠を保存しデスクトップにアイコンを出しておきました。体裁は個々に応じて作ってもらえたらよいと思います。できた物はケース会議などで分かり易く書かれているか話し合えるとより良い物になると思います。

あくまでも、個人のプライバシーに関することなので取り扱いには十分気をつけてください。

もう少し詳しくサポートブックについて知りたい方は

ダダ通信

<http://www.uncl.nagoya-u.ac.jp/-taco/dada/> _

自閉症ノブのお店

www.niji-or.jp/xiccztpape18/page.html

いっせいのサポートブック

[//mikoisse.hp.intoseek.co.jp/saportobook/html](http://mikoisse.hp.intoseek.co.jp/saportobook/html)

ご覧下さい